

## 第2回 倉敷市水道事業経営審議会会議録

1 日 時 令和元年12月2日(月) 14時00分～14時40分

2 場 所 片島浄水場2階見学者ホール

3 出席者 出席委員14名

戸前会長, 鴨井副会長, 内田委員, 沖山委員, 小田委員, 監物委員,  
近藤委員, 武則委員, 原田委員, 藤原佐委員, 藤原義委員, 森田委員,  
山野委員, 山部委員

事務局10名

古谷水道事業管理者, 松本参事, 小松参事, 池田課長, 吉富課長, 木村課長,  
今井課長, 森兼課長, 小河原室長, 藤田係長

### 4 会 議

#### (1) 審議

##### 1 平成30年度決算について

##### <質疑>

委 員 企業が使用している水道は, 倉敷市の水道と関係がありますか。

事務局 工場等で大量に使用される水道については, 県の工業用水を使用されていますが,  
手洗いや飲用するための水は上水道を使用されていますので, 倉敷市内の工場, 会  
社, 病院等の企業も, 倉敷市の水道を使用しているということになります。

委 員 公営企業会計用語集資料3の企業債残高について, 現在は159億円ですが, 「令  
和10年度時点で197億円を上回らないことを目標」としている197億円とい  
う数字の根拠はどこから来ていますか。

事務局 197億円の数字の根拠は, 水道管の更新や耐震化などの今後かかる費用等を加  
味して, 長期財政シミュレーションをした結果の数字になっております。

委 員 今後は増えるということですね。

事務局 我々経営者は企業債残高が少しでも下がるような結果を残したいと思っており,  
そのようなことも加味して今年度から水道料金を14.95%の改定をさせていただ  
いております。借入額だけを単独で何十億円増やそうという議論ではなく, 現在

の利用者のご負担である水道利用料金との兼ね合いで決めさせていただきました。

委員 減ることはないので、借入などを丸投げして民営化になるのではないかという不安があります。

事務局 民営化と言われている運営権の売却についてですが、料金改定の議案を市議会に提出した際や、水道事業の運営にかかる所管の常任委員会から質問を頂いた際にも、運営権の売却は考えておりませんと答弁しています。

委員 民営化になるという話から、倉敷の水はすごく良いので狙われているということを目にしました。

事務局 狙われているという話は聞いたことはありませんが、倉敷の水が良いというのは、高梁川源流ということで安くておいしい水が皆さんに供給できるという意味での良い水かと思われます。安い水に目を付け、料金値上げをして利益を上げようとする企業がいるのではないかとされているのかもしれませんが、私共は皆さんに負担をかけないような料金値上げで企業努力をしていこうという回答をさせていただいておりますので、よろしくお願いします。

事務局 補足説明として、倉敷市の水道料金は、県内では玉野市に次いで2番目に安い料金となっています。今年の平成31年1月に料金改定14.95%の値上げをしましたが、20万人以上の都市である中核市58市の中でも、料金改定前は2番目、料金改定後は5番目に安い料金となっています。

委員 資料6ページ「収支・有収水量の推移」で、収支のグラフが平成26年度までは低く、平成27年度から急に上がっているのは何が理由でしょうか。

事務局 理由としては、平成26年度に会計基準の見直しがあり、一旦、長期前受金として負債に計上し、それをまた長期前受金戻入として収益に計上するように計算の仕方が変更になったためです。資料6ページの表の3段目の「長期前受金戻入」の欄には、平成25年度までは長期前受金戻入を加味しない形で収支の計算をすることとなっていたため数字が入っていません。平成26年度に会計制度の見直しがあり、長期前受金戻入を加味して計算することとなり、平成26年度から毎年10億円程度が計上され、収支が上がっているということです。

委員 会計基準のやり方が変更されなければ、毎年同じ様な収支の数値ということですか。

事務局　　そうです。

委　員　　実際はどちらの見方がいいのでしょうか。利益が出るような状態の見方をした方がいいのでしょうか。

事務局　　実際は、長期前受金戻入を引いたものを見ていただくと、実質の赤字か黒字かが分かります。

委　員　　それが現実ですか。

事務局　　はい。

委　員　　意見でも質問でもないのですが、審議会委員の席に座らせていただいたことを機に出前講座をお願いしました。担当者が下見に来られた際に、以前頂いたボトル水「くらしきの水」について「素敵ですね」という旨をお伝えしたところ、講座当日に「くらしきの水」を配布していただき、参加者に喜んでいただけました。講座では数字に関する話はありませんでしたが、私たちの年代は水に関しての意識が高く、水は大切にしなければいけないと思っており、ある日突然ライフラインの水が来なくなる可能性があるという話もしていただいたので、出前講座をしてもらいとても良かったと思っています。

事務局　　ありがとうございます。

## (2) その他について

事務局　　今後の審議会の日程について、次回審議会を2月頃に予定しています。日時については後日調整して連絡します。

令和元年12月19日

代表署名人

戸前 壽 